

地区計画届出の手引き

(石田南)

上三川町

目 次

1. はじめに 地区計画制度とは 1
2. 地区計画の内容 2
3. 地区計画の内容の趣旨と解説 3
4. 新築や増改築の際の手続き 9
5. 石田南地区計画（計画書） 13
6. 石田南地区計画（計画図） 15

1. はじめに —地区計画制度とは—

石田南地区は、北関東自動車道路宇都宮上三川インターチェンジ、新4号国道等の広域交通網に近接した位置にあります。

この優れた交通利便性を活かし、今後需要が見込まれる物流業務を中心とした産業の集積・誘導を図る地区としての整備を目指しています。

活力ある地区を目指すとともに、周辺環境と調和した市街地の形成を図るため、石田南地区に「石田南地区計画」という都市計画（まちづくりのルール）を定めました。

【 地区計画とは 】

地区計画は、特定の地区内において、良好な市街地環境の形成・保持のため、施設整備・建築物の整備・土地利用に関する一体的かつ総合的な計画で、地区にふさわしいきめ細かいルールを定めるものです。

新たな都市の拠点づくり等の特別な目的や望ましい市街地像を実現するために定めます。

「地区計画」が都市計画として決定されますと、その地域で建築などを行うときには、地区計画の内容を守ることが必要になります。（建築などを行う前に、町へ届出をしていただきます。）

地区計画の内容に合わない場合には、設計の変更をお願いすることになります。

2. 地区計画の内容

石田南地区は用途地域が工業地域に指定されていますが、ゆとりある良好な都市環境の形成を図るために、地区計画で敷地面積の最低限度や壁面の位置を制限します。

| | | |
|-----|----------|--------|
| 石田南 | 用途地域 | 工業地域 |
| | 容積率／建ぺい率 | 200／60 |

石田南地区計画で定められた建築物等に関する主な制限は、次のとおりです。
なお、地区計画についての詳しい内容については、3～8ページをご覧ください

| 項目 | 内容 |
|---------------|---|
| (1) 用途の制限 | 3ページをご覧ください。 |
| (2) 敷地面積の最低限度 | 1,000㎡ |
| (3) 壁面の位置 | 建築物の外壁などは、道路境界線及び隣地境界線から、1m以上離して建築してください。 |
| (4) 形態又は意匠 | 建築物等の形態又は意匠は、周辺環境に調和したものとしてください。 |
| (5) かき・さくの構造 | 道路に面する塀の構造は、生け垣か、透視可能なフェンス等としてください。 管理上やむを得ず石塀などを設置する場合は、道路境界線から60cm以上後退し、後退した部分は、植栽などで緑化してください。 |

3. 地区計画の内容の趣旨と解説

【 建築物の用途の制限 】

次の用途に利用するものは、建築できません。

1. 住宅、共同住宅、寄宿舍、下宿、兼用住宅
2. 店舗等
3. ボーリング場、スケート場、水泳場、ゴルフ練習場、バッティング練習場、その他これらに類するもの
4. カラオケボックス、マージャン屋、ぱちんこ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場その他これらに類するもの
5. 図書館等
6. 神社、寺院、教会その他これらに類するもの
7. 公衆浴場、診療所、保育所その他これらに類するもの
8. 老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するもの
9. 老人福祉センター、児童厚生施設等
10. 自動車教習所
11. 畜舎
12. パン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋、洋服店、畳屋、建具屋、自転車店等で作業場の床面積が50㎡以下
13. 環境を悪化させるおそれのある工場等

趣旨

流通業の業務の利便の増進を図るため、業務活動に支障となる住宅などや遊戯施設などを制限します。

【 敷地面積の最低限度 】

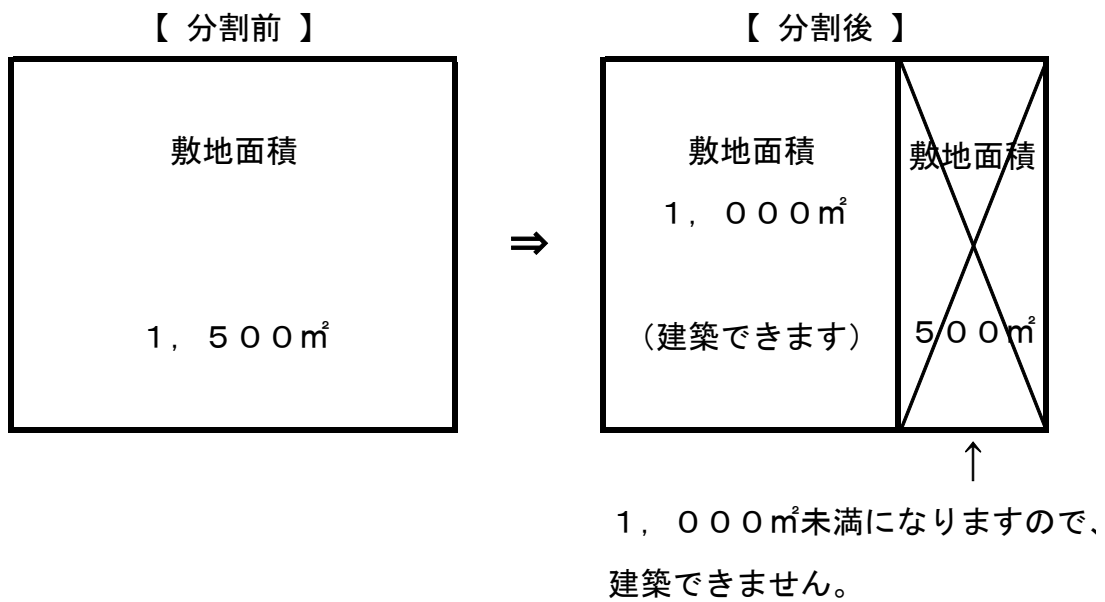
建築物の敷地面積の最低限度は **1,000㎡**とします。

趣 旨

新しい市街地にふさわしいゆとりあるまち並みをつくるため、宅地の細分化を制限しました。敷地を分割し、地区計画に掲げる面積未満になると、その敷地には建築できなくなります。

解 説

【 例 】




【 壁面の位置の制限 】

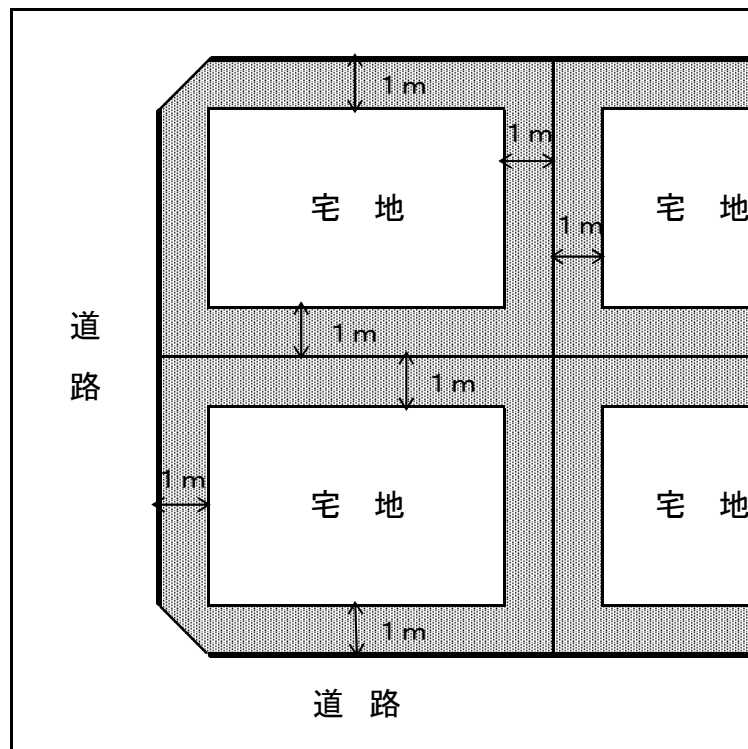
建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から、道路境界線（隅切り部を除く）及び隣地境界線までの距離は、**1メートル以上**とします。

趣 旨

日照や通風の確保、また、広がりのある空間や植樹スペースを確保して、ゆとりのある、緑豊かなまち並みをつくるために、建物を道路や隣地から後退して建築していただく制限を定めます。

解 説

 には、建築物を建築できません。



*なお、次ページのような例外的な特例があります。

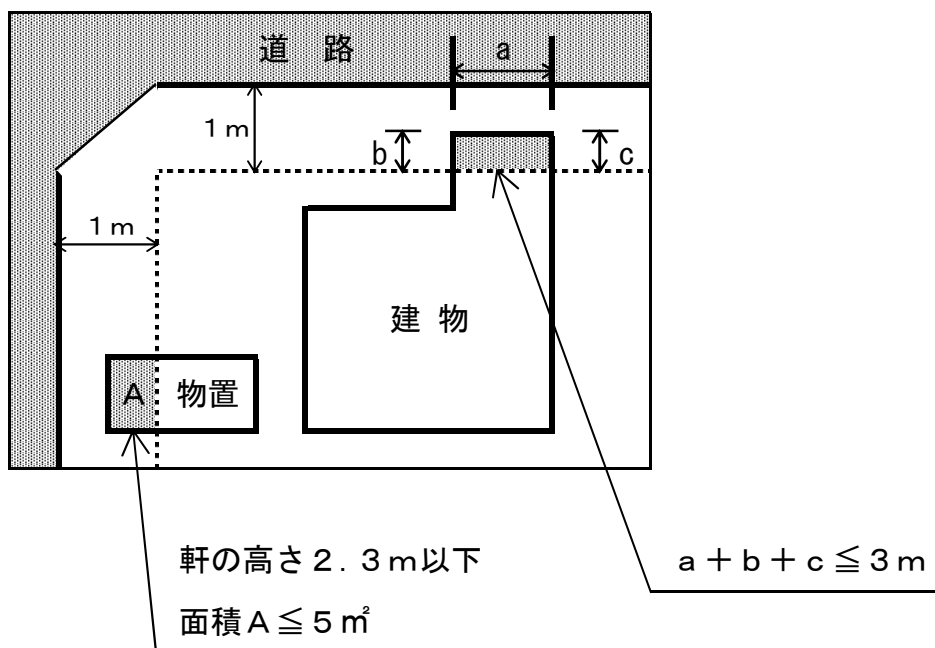
【 壁面の位置の制限の緩和 】

建築物等の壁面の位置には、特例があります。

- 1 外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計が3メートル以下である建築物又は建築物の部分
- 2 附属する物置等で、軒の高さが2.3メートル以下、かつ床面積の合計が5平方メートル以下のもの

解説

建築できます



【 かき又はさくの構造の制限 】

道路に面する塀の構造は生垣にするか、またはフェンスや木柵等の透視のあるものとしてください。基礎を設ける場合は、60センチメートル以下としてください。

管理上やむを得ず塀を設置しなければならない場合は、道路境界線から60センチメートル以上後退し、後退した部分に植栽してください。

趣 旨

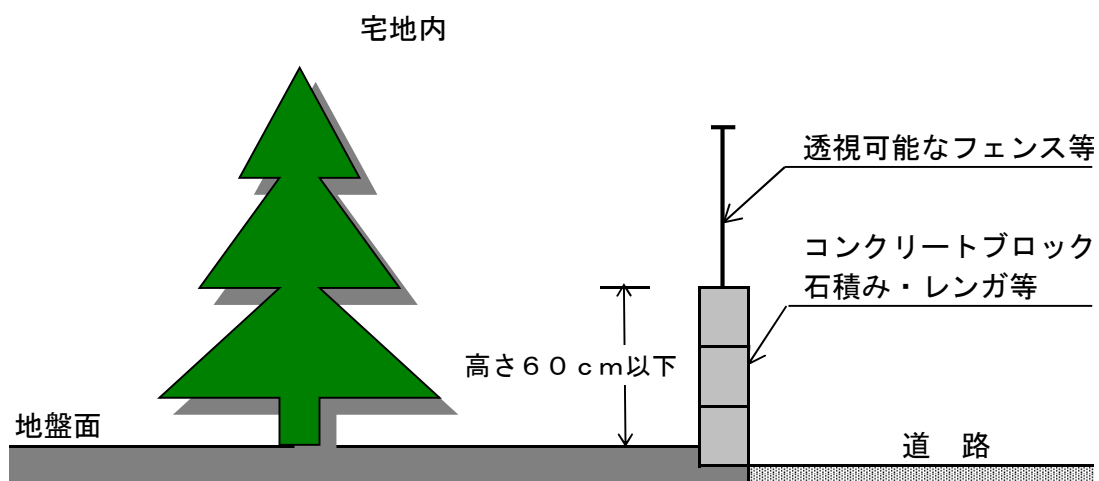
緑豊かなまち並みをつくとともに、震災時の防災や景観を考えて、かき又はさくの構造の制限を定めます。

解 説

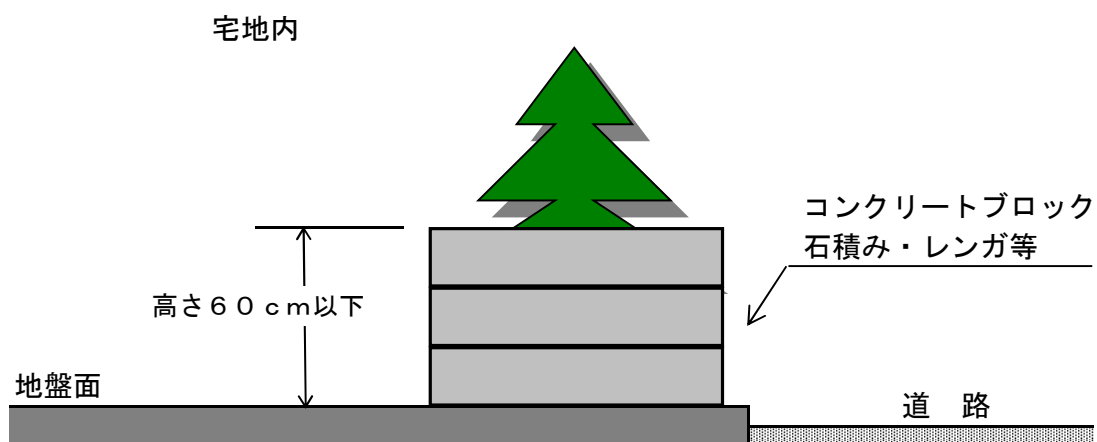
塀等を造る場合の制限ですので、駐車場の出入りなどで、造らない場合は、制限を受けません。

現在適合していない塀などは制限されませんが、壊して新たに設置する場合は、基準に合わせていただきます。

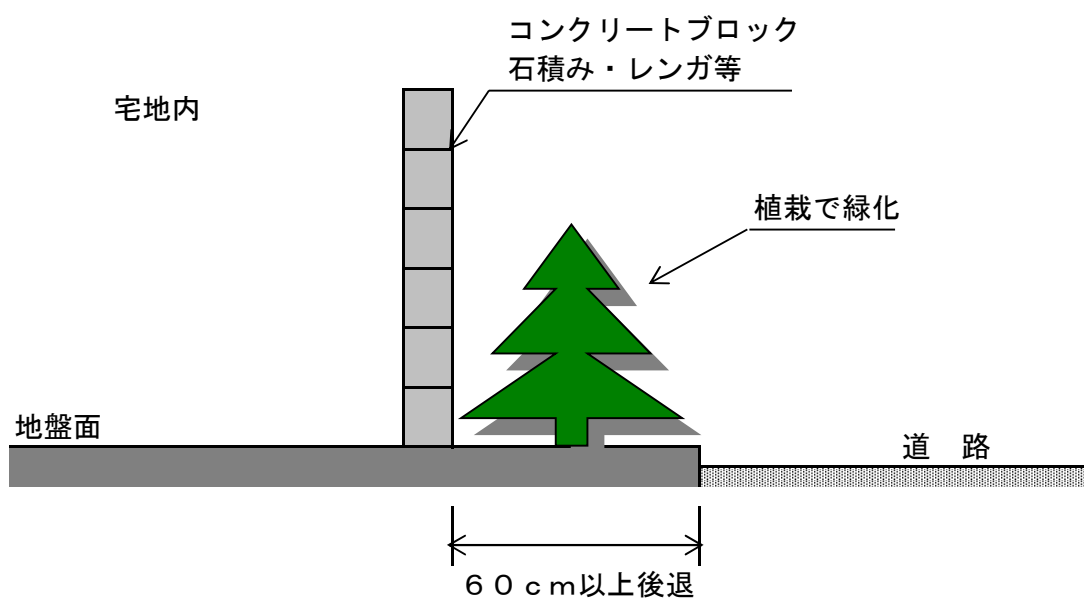
【 フェンス等を設置する場合 】



【 生垣等の場合 】



【 管理上やむを得ず塀を設置する場合 】



【 建築物の形態又は意匠の制限 】

建物の形態や意匠は、周辺の環境と調和したものとしてください。

4. 新築や増改築の際の手続き

地区整備計画区域内に建築物を建築したり、かき又はさくをつくる場合には、届出をしていただき、地区計画の内容に沿った計画であるかどうかを判断します。

届出の必要な行為 …… 届出が必要な主な行為は次のとおりです。

| 行 為 | 内 容 の 説 明 |
|----------------------|--|
| (1) 建築物の建築 | 「建築物」には、家屋はもちろん車庫、物置、建築物に附属する門や塀などが含まれます。 「建築」とは、新築、増改築、移転のことをいいます。 |
| (2) 工作物の建設 | 「工作物」とは、かき、さく、塀、門、広告塔、看板などをいいます。 |
| (3) 建築物、工作物の形態・意匠の変更 | 建築物等の屋根、外壁の色彩の変更、かき又はさくの構造の変更などをいいます。 |
| (4) 土地の区画形質の変更 | 切土や盛土、区画等の変更をいいます。 |

※ 建築確認申請が不要な場合でも届出が必要になります。

勧 告

届出の行為が地区計画に合わない場合には、設計変更等の勧告を町長が行います。

また、建築物の新築・増改築に必要な「建築確認」も受けられません。

届出の方法 …… 次の書類を添えて、都市建設課まで届出てください。

〔1〕 届出書類

- (1) 地区計画の区域内における行為の届出書 …… 1通 (11ページ参照)
- (2) 地区計画の区域内における行為の届出に関する適合通知書・ 1通
- (3) 地区計画の区域内における行為の届出概要書 …… 1通

[以上の用紙は、都市建設課に用意されています。]

- (4) 設計図書

[12ページの指定図面を上記の(1)届出書と(2)適合通知書に添付してください。]

〔2〕 届出先

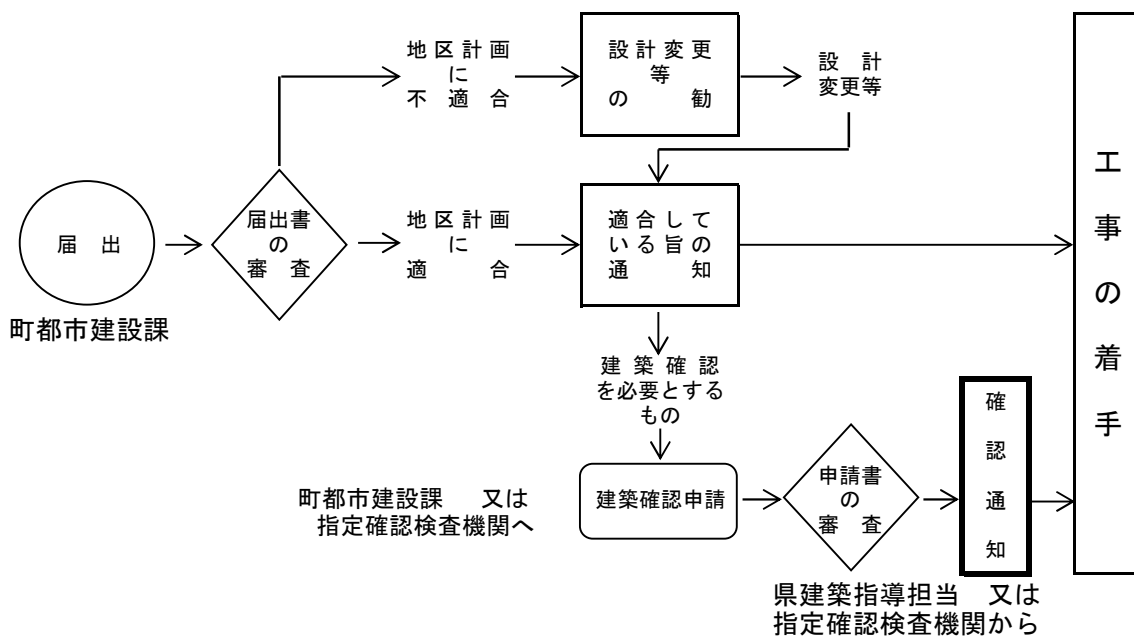
上三川町 都市建設課 都市計画係 ☎0285-56-9140

〔3〕 届出時期

工事(行為)着手日の30日前までに届出てください。

なお、設計や施行方法などを変更した場合は、〔1〕の(1)から(4)までの書類・図面再度提出していただくことになります。

届出から工事着手まで



地区計画の区域内における行為の届出書

| | | | | |
|---|------------------------|-----------------------------|----------------|------------------------|
| 上三川町長 | 殿 | 令和〇〇年△△月××日 | | |
| | | 届出者 住所 上三川町しらさぎ一丁目〇〇番地 | | |
| | | 氏名 上三川 一郎 | | |
| | | (Tel. 0285-56-0000) | | |
| 都市計画法第58条の2第1項の規定に基づき、 <input type="checkbox"/> 土地の区画形質の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物の建築又は工作物の建設 <input type="checkbox"/> 建築物等の用途の変更 <input type="checkbox"/> 建築物等の形態又は意匠の変更 | | | | |
| について、下記により届け出ます。 記 | | | | |
| 1 地区名 | 石田南 | | | |
| 2 行為の場所 | 上三川町大字 石田〇〇番地 | | | |
| 3 行為の着手予定日 | 令和〇〇年△△月××日 | 4 行為の完了予定日 令和〇〇年△△月××日 | | |
| 設計又は建築又は施工方法は | (1) 土地の区画形質の変更 | 区域の面積 | m ² | |
| | (2) (イ)行為の種別 | 建築物の建築 (新築・改築・増築・移転) 工作物の建設 | | |
| | (ロ) 設計概要 | 届出部分 | 届出以外の部分 | 合計 |
| | (i) 敷地面積 | / | | 1200.00 m ² |
| | (ii) 建築又は建設面積 | 700.00 m ² | m ² | 700.00 m ² |
| | (iii) 延べ面積 | 700.00 m ² | m ² | 700.00 m ² |
| | (iv) 高さ及び階数 | 地盤面から 15 m、地上 1 階、地下 階 | | |
| | (v) 用途 | 工場 | | |
| | (vi) 屋根及び外壁の色彩 | 屋根: グレー | | 外壁: ページュ |
| | (vii) かき又はさくの設置の有無及び構造 | 有 (生垣 高さ1.5m)、無 | | |
| (3) 建築物等の用途の変更 | (イ) 変更部分の延べ面積 | m ² | | |
| | (ロ) 変更前の用途 | (ハ) 変更後の用途 | | |
| (4) 建築物等の形態又は意匠の変更 | 変更の内容 | | | |
| 備考 1. 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。 2. 地区計画において定められている内容に照らして、必要な事項について記載すること。 3. 同一の土地の区域において2以上の種類の行為を行おうとするときは一の届出書によることができる。 | | | | |

| 受付欄 | 項目 | 内容 | 項目 | 内容 |
|------------|-------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 建築物等に関する制限 | <input type="checkbox"/> 用途 | 1低住・1中高住・1住居 工業・工専・調整区域 | <input type="checkbox"/> 壁面 | 道路境界線から m以上 隣地境界線から m以上 |
| | <input type="checkbox"/> 建ぺい率 | 50・60 | <input type="checkbox"/> 高さ階数 | 高さ m 階数・地上 m |
| | <input type="checkbox"/> 容積率 | 80・100・200 | <input type="checkbox"/> かき・さく | 構造 宅地面からの高さ m以下 |
| | <input type="checkbox"/> 最小敷地 | 180・200・500 ・1000m ² | <input type="checkbox"/> 意匠形態 | 外壁・屋根・広告物・外壁等 |

太枠内は記入しないで下さい。

届出に必要な添付図書

届出に必要な図書は、下記の表のとおりです。

| 行為の種別 | 図面 | 縮尺 | 備考 |
|--------------------------------|------------------------|-----------|---|
| (1) 建築物の建築 工作物の建設 | 付近見取図 | 1/1,000以上 | 方位、道路及び目標となる地物の表示 |
| | 配置図 | 1/100 以上 | 敷地内における建築物の位置を表示 (境界から壁面までの距離を表示) |
| | 立面図 (2面以上) 各階平面図 | 1/100 以上 | 建築物の高さと、外壁・屋根・屋外広告物の色彩を表示 |
| | かき、さく の設置平面図 | 1/100 以上 | かき又はさくを設置する場合、配置図を基に門、垣、塀、植栽等を記載したもの (垣、植栽については木竹名を記載) |
| | かき、さく の設置立面図 | 1/50 以上 | かき又はさくの構造、高さを表示 |
| (2) 建築物または 工作物の形態 ・意匠の変更 | 付近見取図 | 1/1,000以上 | (1)の備考参照 |
| | 配置図 | 1/100 以上 | |
| | 立面図 | 1/100 以上 | |
| | かき、さく の設置平面図 | 1/100 以上 | |
| | かき、さく の設置立面図 | 1/50 以上 | |
| (3) 土地の区画 形質の変更 | 区域図 | 1/1,000以上 | 当該土地の区域並びに当該区域及び当該区域の周辺の公共施設を表示 |
| | 設計図 | 1/100 以上 | 造成計画図及び断面図 |

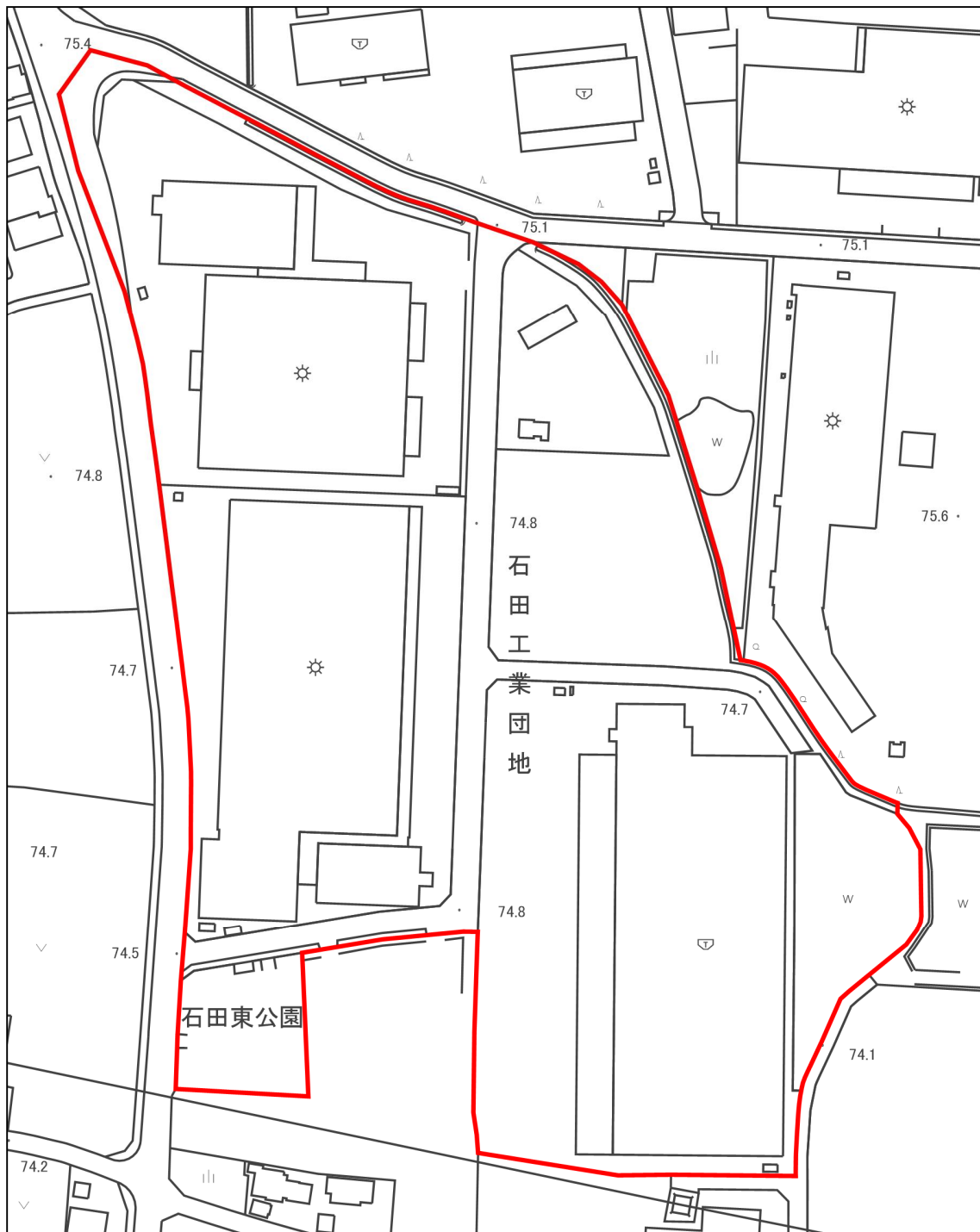
1. 必要に応じて、その他参考となるべき事項を記載した図書を添付してください。
2. 届出書の体裁は、添付図面をA4版に折り、届出書・適合通知書を表紙につけて、左とじにして提出してください。

5. 石田南地区計画（計画書）

| | | |
|--------------------|--|---|
| 名 称 | 石田南地区計画 | |
| 位 置 | 上三川町大字石田字作内及び字砂田の各一部 | |
| 面 積 | 約 5.3 ha | |
| 地区計画の目標 | <p>本地区は、北関東自動車道宇都宮上三川インターチェンジ、新4号国道に近接した位置にあり、物流系を中心とした産業の集積・誘導を図る地区として位置付けている。</p> <p>流通産業の需要が見込まれる中で、活力ある産業形成を目途として物流業務機能の集積及び強化を図るとともに、周辺環境と調和した市街地の形成を図る。</p> | |
| 区域の整備・開発及び保全に関する方針 | <p>(土地利用の方針) 流通業務系土地利用としての位置づけを踏まえ、流通系の施設の適正な配置を誘導し、合理的な土地利用を図る。</p> <p>(地区施設の整備方針) 地区計画の目標に照らして、これら地区施設の機能を損なわないよう維持・保全に努める。 道路、公園、緑地の機能、環境が損なわれないように、維持・保全を図る。</p> <p>(建築物等の整備方針) 都市活動の機能性を高めるとともに、ゆとりある良好な都市環境の形成を図るため、建築物等の用途、建築物の敷地面積の最低限度、壁面の位置、建築物等の形態又は意匠、かき又はさくの構造の制限を行う。</p> | |
| 地区整備計画 | 建築物等に関する事項 | <p>次に掲げる建築物は、建築してはならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住宅、共同住宅、寄宿舎、下宿、兼用住宅 2 店舗等 3 ボーリング場、スケート場、水泳場、ゴルフ練習場、バッティング練習場 その他これらに類するもの 4 カラオケボックス、マージャン屋、ぱちんこ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場その他これらに類するもの 5 図書館等 6 神社、寺院、教会その他これらに類するもの 7 公衆浴場、診療所、保育所その他これらに類するもの 8 老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するもの 9 老人福祉センター、児童厚生施設等 10 自動車教習所 11 畜舎 12 パン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋、洋服屋、畳屋、建具屋、自転車店等で作業場の床面積が50㎡以下 13 建築基準法（昭和25年5月24日法律第201号）別表第二（る）項第1号及び第2号に掲げるもの |

| | | |
|----------------------------|------------------------|--|
| 地 区 整 備 計 画 | 建築物の敷 地面積の最 低限度 | 1, 000 m ² |
| | 壁面の位置 の制限 | <p>建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線（隅切り部を除く。）及び隣地境界線までの距離は、1メートル以上としなければならない。ただし、次の各号の一に該当する建築物又は建築物の部分を除く。</p> <p>1 外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計が3メートル以下であるもの</p> <p>2 物置その他これに類する用途に供し、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、床面積の合計が5平方メートル以内のもの</p> |
| | 建築物等の 形態又は意 匠の制限 | 建築物等の形態又は意匠は、周辺環境に調和したものとする。 |
| | かき又はさ くの構造の 制限 | <p>道路境界線に面するかき又はさくの構造は、原則として生垣又は透視可能なフェンス等とする。（高さ60センチメートル以下の部分を除く。）</p> <p>ただし、管理上やむを得ず設置する塀で、前面道路境界線から60センチメートル以上後退し、後退した部分を植栽等で緑化したものは、この限りではない。</p> |

6. 石田南地区計画（計画図）



地区計画について、ご質問、ご相談がありましたら下記までお問い合わせください。

上三川町 都市建設課 都市計画係

〒329-0696 上三川町しらさぎ一丁目1番地 TEL0285(56)9140

令和8（2026）年5月 手引き修正